

西初中の教育「自立 貢献」

西初石中学校では、「自立 貢献」を学校教育目標に掲げ、日々教育活動に邁進しています。

「自立」とは、「自分の行いに責任を持ち、確かな知識や技能のもと、自分で判断し、行動すること」と西初石中学校ではとらえています。

キーワードは「責任」「知識・技能」「判断」「行動」です。これらの力を「授業」「生徒会活動」「行事」「部活動」等につけていきます。簡単に言うと「授業」や「活動」です。生徒が自立した大人になるために、職員が一丸になって指導しています。

今月は、特色ある西初石中の日々の授業や、活動の様子を紹介します。新規採用の「石井鷹教諭」、ミドルリーダー生徒指導主任・進路指導主任の「小口智明教諭」、ミドルリーダー研究主任「平大樹教諭」の3名です。学校を支える屋台骨と最若手の奮闘が、皆様に伝われば、幸いです。



【小口智明 3-1担任 国語科】

5/14-16の修学旅行（京都・奈良）での1枚です。2日目の京都市内班別研修出発チェックを行っています。生徒が計画を立て一日行動します。ジャンボタクシー（ワゴン車）での移動です。運転手さんはガイド役も兼ねており、充実した学びとなっています。修学旅行は、小口教諭を中心として3学年全員で立案・指導してきました。冷静で、きめ細かな配慮ができる小口教諭の指導ぶりは、素晴らしかったです。 【校長】

【石井鷹 1年副担任 国語科】

この3月に大学を卒業した新採用教諭です。1年生の説明文「笑顔という魔法」の授業の1コマです。自作のワークシートを使い、4人グループでの話し合い活動を取り入れた授業に取り組んでいます。すべての生徒が課題に意欲的に取り組めるように、日々、教材研究に取り組んでいます。新採用者ですが、範読の際の声の質・大きさ・スピードが適切です。授業改善に臨む姿がよいと感じています。【校長】



【平大樹 3-1担任 技術・家庭科】

家庭科の教員免許を持っている教諭です。研究主任でもあり、よりよい授業づくりを進めるリーダーです。写真は千葉大学教育学部の辻教授とともに取り組んでいる「ペットボトルでの稲作」の1コマです。この日は辻教授も授業参観されました。「『黒土』『培養土』『赤玉土』をどのくらいの割合で配合したらよいか」「配合の仕方はどうするか」を各自で考え、実際に植えました。今後、生長の様子を観察し、その結果について考察し、発表する計画です。「主体的・対話的・深い学び」を目指しています。【校長】



（一言メモ）「新しい学習指導要領について」

「答えが無いようなことについて、どうなるのかをよく考え、答えを創っていく」このような力が、今の子供たちが大人になったときに必要であると考えています。そのために、確かな知識や技能が必要ですし、それをもとに判断していくことが求められます。「隠された正解を見つける」ではなく「答えを創る」といった方がわかりやすいかもしれません。